

尼崎市立中央中学校トライやる・ウィーク

1. 趣旨

中学生が職場体験、福祉体験、勤労生産活動など、地域での様々な体験活動を通じて、働くことの意義、楽しさを実感したり、社会の一員としての自覚を高めたりするなど、生徒一人ひとりが自分の生き方を見つけられるよう支援する。

また、「トライやる・ウィーク」への取組を通じて学校・家庭・地域社会の連携を深め、社会全体で子どもたちの人間形成や社会的自立の支援を行うことで、子どもたちを中心とした地域コミュニティの構築へと発展することを期待するものである。

(1)「生きる力」の育成を図る。

- ・社会の一員としての自覚を持たせ、自分の可能性にチャレンジする心を育てる。
- ・人とのコミュニケーションの大切さや、社会規範の重要性を学ばせる。
- ・社会的自立に必要な「自律心」や「忍耐力」を育む。
- ・いろいろな立場の人の状況を知り、思いやりの心、共に生きる心や感謝の心を育てる。

(2) 地域・家庭・学校の連携を深める。

- ・「地域の子どもを地域ぐるみで育てる」という意識を高める。
- ・家庭における会話の場を増やす機会とする。
- ・地域の人々が中学生に接し、中学生の実態の理解を図る機会とする。

2. 実施内容

事業所(商店,事務所,公共施設,工場,寺院,銀行,病院,宿泊施設など)において、職場体験活動をおこなう。

【例】・勤労生産活動:農業、園芸等の体験活動。

- ・職業体験学習:地域のいろいろな職場での体験学習。
- ・文化・芸術創作活動:絵画や音楽等の活動。
- ・福祉体験活動:福祉施設等での活動。

3. トライやる・ウィーク実行委員会(2学年保護者)の活動

(1) 本校2学年の保護者で組織する。

(2) 実行委員会の活動内容

- ① トライやる・ウィーク推進委員会(校長・教頭・教員・保護者による組織)へ参加する。
- ② 本校2学年の生徒の活動場所を確保する。
 - ・過年度に実施した事業所へ、職場体験活動の可否について確認をする。
 - ・職場体験活動が可能な事業所を新規開拓する。
- ③ 活動記録のため、事業所を訪問する。
- ④ 次年度へ引き継ぐため、アンケートに回答する。

4. 実行委員会活動予定

時期	会議等	活動内容
4月	第1回推進委員会	年間計画・トライやる・ウィークについて説明 活動事業所に体験活動の可否の確認
5月	第2回推進委員会	新規活動事業所の開拓
6月	第3回推進委員会	活動事業所確定
8月	第4回推進委員会	活動期間中の訪問担当者の割り振り
9月	トライやる・ウィーク 実施	活動事業所に訪問・記録写真撮影
活動後	実行委員会アンケート回答	次年度への引継ぎ アンケートの回答

4. 前年度の活動の様子

